

2022 年 1 月 4 日

各 位

株式会社 北日本銀行

きたぎん SDGs 経営サポートによる「SDGs 宣言」策定支援について ～菱和建设株式会社～

株式会社北日本銀行（頭取 石塚恭路）は、取引先企業さまの SDGs への取り組みを評価分析し、SDGs 経営を支援する「きたぎん SDGs 経営サポート」を取り扱っております。この度、本サービスのうち Basic（基本版）を通じて、菱和建设株式会社様（代表取締役 海野尚）が SDGs 宣言を策定されましたので、下記の通りお知らせいたします。

今後とも当行は、取引先企業さまの SDGs の取り組みを支援し、持続的な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 会社概要

会 社 名	菱和建设株式会社
所 在 地	〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ 1 丁目 6-30
代 表 者	代表取締役 海野 尚
業 種	土木・建築工事業

2. 重点項目



3. きたぎん SDGs 経営サポートについて

取引先企業さまの SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）への取り組みを促進するため、取引先企業さまの SDGs の取り組み状況を確認し、優先課題を決定した上で、目標設定を行うこと（Basic：基本版）、また、サプライチェーン分析による事業活動の流れと SDGs 貢献度を分析し、未来志向の目標設定（Progress：発展版）をお手伝い致します。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

営業統括部 事業コンサルティング室（担当：佐藤） TEL：080-8603-1669



菱和建设株式会社

代表取締役 海野 尚

(所在地：岩手県盛岡市)



菱和建设について

菱和建设は、『我々は社会、会社、社員を共に発展させる接点を求める』を企業理念とし、昭和37年に創業。当初は、ほ場（農地）整備が主体だったが、現在は土木工事と建築工事を主体とする総合建設業である。

三者配分という方針を基本としている事から、会社の成長が社会の発展に貢献するという特徴を持っており、『環境保全』や『地域社会への貢献』と共に、経営基盤の強化に努め、持続可能な開発目標（SDGs）実現を目指している。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
SDGs戦略・推進	既存事業とSDGsへの貢献、SDGs視点の新たな事業・設備投資基準の設定
環境の保全	再生可能エネルギーの活用、大気汚染の防止、廃棄物の3Rの推進
地域社会への貢献	森林や山の自然の保護活動、寄付活動、地域とのコミュニケーション
コンプライアンス・ガバナンス	コンプラ体制の構築、BCPの策定、業務効率化や生産性の向上

菱和建设株式会社 SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、
以下のマテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じて貢献します。



2022年1月4日
菱和建设株式会社
代表取締役 海野 尚

マテリアリティ（重要課題）

SDGs戦略・推進

企業理念である「社会と共存共栄を図る」ことを目指し、積極的にSDGs経営に取り組みます。

▼ 目標・取り組み内容

- ・継続したば場整備事業への取り組み
- ・ZEBへの挑戦、現場で再生資材使用の徹底
- ・設備投資基準にSDGsを考慮・導入



環境の保全

社内のエネルギー“ゼロ”化や環境保全に取り組むことで、脱炭素社会の実現に貢献します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・ソーラーパネルの設置による再エネ促進
- ・社用車として、ハイブリッド車と電気自動車の導入率100%
- ・電子マニフェスト導入によるリサイクル率100%の実現



地域社会への貢献

自然保護や寄付活動を通じて地域とコミュニケーションを図り、地域の連携活性化に貢献します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・苗木の寄付による森林活動維持
- ・寄付活動
- ・社員会及び菱友会を通じた地域のボランティア活動



コンプライアンス・ガバナンス

コンプライアンスを遵守し、持続的な経営基盤の強化に向けた体制を構築します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・反社会勢力に対する基本方針の策定
- ・データ損失対策とバックアップを含むBCP策定
- ・部署間の連携を目指したDX化の推進

